

[24_02]九州大学大型計算機センター広報表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/1470188>

出版情報：九州大学大型計算機センター広報. 24 (2), 1991-03-15. 九州大学大型計算機センター
バージョン：
権利関係：

連絡所めぐり

今回から、広報教育室より再度依頼して回答のありました連絡所について掲載しています。予定ではもう少し原稿がいただけると期待しておりましたが、各連絡所の事情により今回は見合わせたいとの回答が多かったようです。今後掲載は続けていきますのでいつでも原稿をお待ちしています。

4.4. 鹿屋体育大学連絡所

・連絡所所在地 〒891-23 鹿児島県鹿屋市白水町1番地
鹿屋体育大学 庶務課庶務係

・連絡所の紹介 鹿屋体育大学の連絡所開設は昭和61年度である。その当時は汎用電算機がなく共同利用大型計算機とは教官各自のパソコンと専用電話による結合がなされていた。昭和63年度から平成元年度にかけ汎用計算機FACOM-M760/4（主記憶容量32MB、ディスク容量5GB）が設置された。学外とはNTT回線により9600bpsで鹿児島大学のアクセスポイントまで接続し、そこからN1ラインによって九州大学と接続される。この回線は平成2年度に更新される図書館の電算機と共用され、図書館情報を教官の端末から見るができるようシステムの結合が計られている段階にあり、現在本格的稼働状況にない。学内の端末はPC-SEMI教育システム（27台）と専用端末（FMR-5016台）を配置し、学内教官各自のパソコンからはRS-232C端子から、また海洋センターなどキャンパス外からは普通電話回線により、電算機を利用することができる。両回線を通じ学内LANとしてΣ230を介してMAILRUNNERを24時間体制で利用できる。汎用計算機の運営規定・企画方針は副学長と7講座各一名ずつおよび事務局長からなる学内共同利用計算機運営委員会（委員長 社会文化学講座教授 今井義量、連絡所責任者）によって定められる。運営実務は若干名の実行専門委員会（委員長 体育学講座助教授 川西正志）の教官に委任されている。委員会の運営は会計課情報処理係であるが実務運営事務担当が決められておらず、教官は多忙であって管理運用に支障を来している。現在は導入過渡期にあり、本格的な運用体制は人員の配置や今後の運用企画に懸かっている。

4.5. 熊本大学連絡所

・連絡所所在地 〒860 熊本市黒髪2-39-1
熊本大学 総合情報処理センター

・連絡所の紹介 当センターは、センター長（1名・併任）以下、主任1名、助手1名、技官3名、技術補佐員1名、事務補佐員1名のスタッフにて運用しています。設置計算機が年明けよりFACOM M780/10Qに更新される予定で、現在スタッフ全員が児童の状況です。

熊本大学は3キャンパスからなり、各キャンパスに光データハイウェイが敷設されています。これを介して各研究室からホストに接続することになります。新システムでの接続端末数は約300台になります。

センターの利用では科学技術計算が多く、またジョブの大形化の傾向が進んでいます。繁忙期にはCPU稼働率が100%近くなりターンアラウンドが長くなるため、九州大学他の大型計算機センターへ利用者が流れるということが起こっています。新システムへ更新されて状況が改善される事を期待しているところです。

4.6. 近畿大学工学部連絡所

・連絡所所在地 〒737-01 広島県呉市広古新開5-1-3
近畿大学 工学部教養課程

・連絡所の紹介 利用登録者は1名で、必要なとき、即利用できるように登録はしていますが、現在利用していません。
昨年、本学に電算機センターが開設されました。ホストはFACOM M-360 AP, 端末はFMR50HD(81台), FMR70HD(3台)です。現在、外部ネットワークには接続していませんが、近い内に接続する予定です。接続後に、大型計算機センターの利用が増すのではないかと思います。

4.7. 第一薬科大学連絡所

・連絡所所在地 〒815 福岡市南区玉川町22番1号
第一薬科大学 薬品物理化学教室

・連絡所の紹介 大型計算機は未設置で、パソコンで公衆回線を通じて九州大学大型計算機センターと接続可能です。
以前はセンターの大型計算機をよく利用させていただいていましたが、最近パソコンのみですむ計算が多く、大型計算機の利用度が非常に低くなっています。

4.8. 宇部工業高等専門学校連絡所

・連絡所所在地 〒755 山口県宇部市常盤台
宇部工業高等専門学校 電子計算機室

・連絡所の紹介 当連絡所は本校の電子計算機室に設置されており、大型センター利用者は現在5名います。その多くは山口大学計算センターにも登録して、山口大学を經由して利用しています。内容としては、ネットワークを利用した文献情報検索や情報交換あるいは大型機による大型計算などが中心となっています。とくに、今後はネットワーク利用による情報検索や情報交換が増

大していくものと思われますし、潜在的要求も高いものと思われます。そのためには、本校の電子計算機室の教育用の計算機システムVAX3600と大型センターとの接続や学内ネットワークの設置が期待されます。実現はまだまだでしょうが、そのようなネットワークが完備されれば、大型機の利用も飛躍的に増えるものと思われます。

49. 九州帝京短期大学連絡所

- ・連絡所所在地 〒836 福岡県大牟田市新勝立町4-3-124
九州帝京短期大学

- ・連絡所の紹介 本短期大学は4年前に設立され、女子の情報処理教育に力を入れている。NEC PC9801VM 60台、PC9801RX 62台、NEC N5200 Model05 24台を設置しており、経営情報科、英文科、国文科の全学生徒にワープロ、プログラミング(BASIC, COBOL, FORTRAN)、表計算等の教育をしている。一般企業のDATABASE(日経テレコン)も利用している。先生達の研究としては、九大の大型計算機センターに於いてまたは九大の大型計算機センターとの回線接続で、電子メール、FORTRANを使用している。

ライブラリ室だより

-- APSを使いましょう!! --

センターでは富士通提供のAPS (Advanced Printing Subsystem) という出力操作専用のソフトウェア (APSライターを使用している装置だったら、個々の印刷方法および、装置に関係なく処理する機能を統合している) を使って、OPR装置およびファクシミリ装置に出力できるようにコマンドを提供しています。

APSは、富士通製OPR装置とCFCⅢ装置の印刷モードで縦打ち、横打ちの80%縮小印刷が一部出力可能になったり、入力データを16進データに変更して出力するなど従来のDSPRINTコマンドに比べて、機能が豊富なため色々な出力が可能です。

APSの出力操作コマンドにはPRTFILEコマンドと、PRTJOBコマンドがあって、ジョブ出力をプリンタ装置に出力する場合は、PRTJOBコマンドを、データセット出力をプリンタ装置に出力する場合には、PRTFILEコマンドを使用します。

APSのPRTFILEコマンドを使うと、ホスト側のデータセットをOPR装置およびCFCⅢ経由でファクシミリ装置に出力することができます。

OPR装置に出力するときは、

PRTFILE F(データセット名) T(プリンタ番号) COP(1)

ファクシミリ装置に出力するときは、

PRTFILE F(データセット名) A(ファクシミリ番号 CFC) NE(G(0))

を実行すると指定したデータセットが出力されます。

次に、PRTJOBコマンドに関しては、

OPR装置に出力するときは、

PRTJOB A79999AA J(Jxxxx) T(プリンタ番号)

ファクシミリ装置に出力するときは、

PRTJOB A79999AA J(Jxxxx) A(ファクシミリ番号 CFC) NE(G(0))

を実行すると指定したJOBが出力されますが、MSOコマンドのNEW-CLASSにOPR装置のプリンタ番号を指定することにより上記と同じ処理が行えるので、こちらの方が便利だと思います。

また、ファクシミリ装置の出力に関しては、PRTFILEコマンドおよびPRTJOBコマンドを使用するよりも、センター作成のFAXコマンドを使うと簡単に出力できて便利です。

詳しいことは、センターニュースNo. 429のFAXコマンドの記事か、APS使用手引書(V10L20)を参照してください。

(ライブラリ室 内線2508)